

2011 Japan National Team Report "player"



報告者	クラブ 藤沢青少年セーリングクラブ 学年 中2	氏名 林申原 俊人
大会名	IODA North American Championship 2011	
開催地	ロサンゼルス	
大会期間	6月29日 ~ 7月7日	
セールNo	3088	最終順位 92

■ 帰国後1ヶ月以内に、海外派遣担当 田中 (mamet@silverzaq.jp) までメールにて送付して下さい
JODA理事会にて確認の後、ホームページに公開します

■ 記入時の注意点

1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
2. なるべく詳細に記入して下さい
3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい

■ 写真資料について

1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁止します

気温、水温 ウエアについて	気温は朝は涼しく、昼は暑く、夜は涼しいという感じですが 水温は冷たく、昼に陸上にいた時は暑かったのですが 海にでると、急に寒くなりちょっと寒かったです
海面(湖面)の 特徴や風の傾向	海面はとにかく薄月がよく、振るカッターをかけたスタート がよく右に突っ込んだ人が上位にいることが多かったですが 風は糸田がいるときがある時があったりしますが大きいときは きまって同じ向きになります。
セッティングで 注意したこと	セッティングで注意したことはマストとブームのガラスの長さや 舟台の部品がゆるんでないかなどを注意しました

セーリングで注意したこと	セーリングで注意したことは船台との接角虫をしないようにしたりなるべくほかの海外の選手を気にしないようにしたりしました。
海上で練習したこと	腰が痛くあまりちゃんと練習できませんでした。皆で流したりとっちがゆりかを矢口のためニ一方は右に行き、もう一方は左に行き、ゆりかゆりかがゆりかを決めたりしました。

JODA海外派遣委員会

実際のスベリはどうでしたか？	ほかの選手を結構はきにしてしまい、クローズはためでした。海外選手はほとんどが「シェール」を使っていてカチカチ上っていました(クローズの時)
スタートはどうでしたか？	最初の方は緊張してしまいあまりいいスタートはできませんでした。たが3日目ぐういから良いスタートができるようになりました。
コース戦略はどうでしたか？	最初はいつもと同じように持ち本タックで上っていましたがだんだん右にいけば早いというこり書かり途中から右に行くようにしました。
自分より上位の選手との違いは？	自分より上位の選手との違いは、タックする場所やスタートのうまさとしてクローズの角度が違かったです。
国内の練習で役立ったこと	国内の練習で役立ったことは、持ち本タックの位置や乗り方です。

国内の練習で 足りなかったこと	練習で足りなかったことは、判断力と人に流されないように おとしらことが足りなかったです。
印象に残った 外国選手は？	スロバニアのピーターとドイツの人たちとハルーンだけです。
今後の課題と 目標は？	全日本で上位を取ることを健康に過ごすことです。
JODAへの要望	特になりです。
その他	OPT協会の皆様まことにありがとうございました。

ご協力ありがとうございました JODA海外派遣委員会